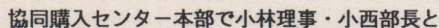


1997年 4月1日

第 75 号

EcoVehicle＝環境と経済の調和を求めた車両を意味した造語／より低公害で実用可能な車両の意味で使用



三月一日、札幌でトヨタ自動車㈱特装特装車両部の磯谷係長と札幌トヨペットで待ち合わせをした。特装部で持ち合わせた札幌特装車にいたLPG4WDトラックを、持ち出して、走行テストの設定のために、札幌市の手稲区の手稲山に向かった。

コープ低公害車開発株式会社
統括マネジャー 若狭良治

レポート

ト ヨ タ
4WD/LPG

トヨタ自動車・コープ低公害車開発
試験車・雪上走行を実施

コープさっぽろ

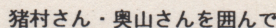
るといふ事態となり、4WD（四輪駆動車）の必要性をつくづくと感じ、強力に自動車メーカーに開発を申し入れをしていたもの。

昨年の一〇月にトヨタ自動車の小型トラックの一・五トン積載車にディーゼルエンジンで4WD車が開発されたため、その車をベースにして、LPGを開発することになり、昨年一二月に試作実験車のめどがたちました。

二月一日に行った「第十八回生協E・V・低公害車検討実務担当者会議」で、実験車を展示し、今回、北海道土別のトヨタ自動車の札幌の雪道で試験を行った後、札幌の雪道での走行でどのような問題があるかを、「コープさっぽろ」の担当者たちと話し合い、実際に確認をするために訪問したものです。

今年の札幌は、昨年と異なり降雪は少ないと言われているが、二月後半からの積雪が多かったために、三月中旬で昨年と同じような残雪状況という。

しかし、それでも二月の積雪から比べて少なくなりつつあり、十分な積雪地帯が確保できるかが重要なポイントで



ある。

札幌でも西部地区の山岳地帯は残雪も多く、スキー場上有名な手稲オリンピックの山上(標高一〇〇〇m)であればと向かったが、交通規制で使えなかった。方向を変えて、西区の西野二股の「平和の滝」と呼ばれる場所を訪れた。「平和の滝」は雪の中に埋もれたようになつており、道路状態も冬場の山道の状態が残っていた。

一・五トン砂袋を満載した

トラックを雪の坂道で走行させた。平地から走行して坂道をかけ上がることや坂道で停止して、2WDで発進したり、4WDで発進したりを繰り返した。2WDでは、後輪がスリップするのを、4WDではがつちり雪とタイヤが噛み合って登っていくのを実感できた。

翌朝（一日）、前夜からの降り続く雪の中、札幌白石区のコープさつぽろ 協同購入センターを訪れた。

協同購入運営部・小西敏男部長と小林吾郎担当理事を訪問し、試験車の4WD・LPGトラックを見てもらい、開発状況を説明した。

その後、同部の車輛管理担当の猪村寛さん、ノンストップ運営部の運営マネジャーの奥山光敏さんと西区発寒の西車部に移動し、センターでの車両の状況を視察したあと、昼食時間を利用して、実際に使用している女性配達員（パート）さん達と懇談を行なった。

参加者 石沢晃久支部長と
女性七名 猪村・奥山両氏、
トヨタ本社の原田将特販特装
車輻部長や札幌トヨベットの
飯田部長、宍戸課長など総勢
一七名の懇談があった。
女性たちの元氣な、かつ、
真剣な現場の切実な意見など
が率直に出され、貴重な場と
なった。

女性たちの励ましの声に送られて、猪村、奥山両氏と試乗コースに行き、雪中の坂道登坂走行などをじつくりと行なった。

雪の少ない面もあったが、十分参考になる感触をつかむ事が出来た。